

【ウォームシェア・スペース】

小さな森をつくる

【種】 『ほっとベンチ』 → 【実】 『ほっと広場』 + 集う人 >> 小さな森

【コンセプト原案イメージ】

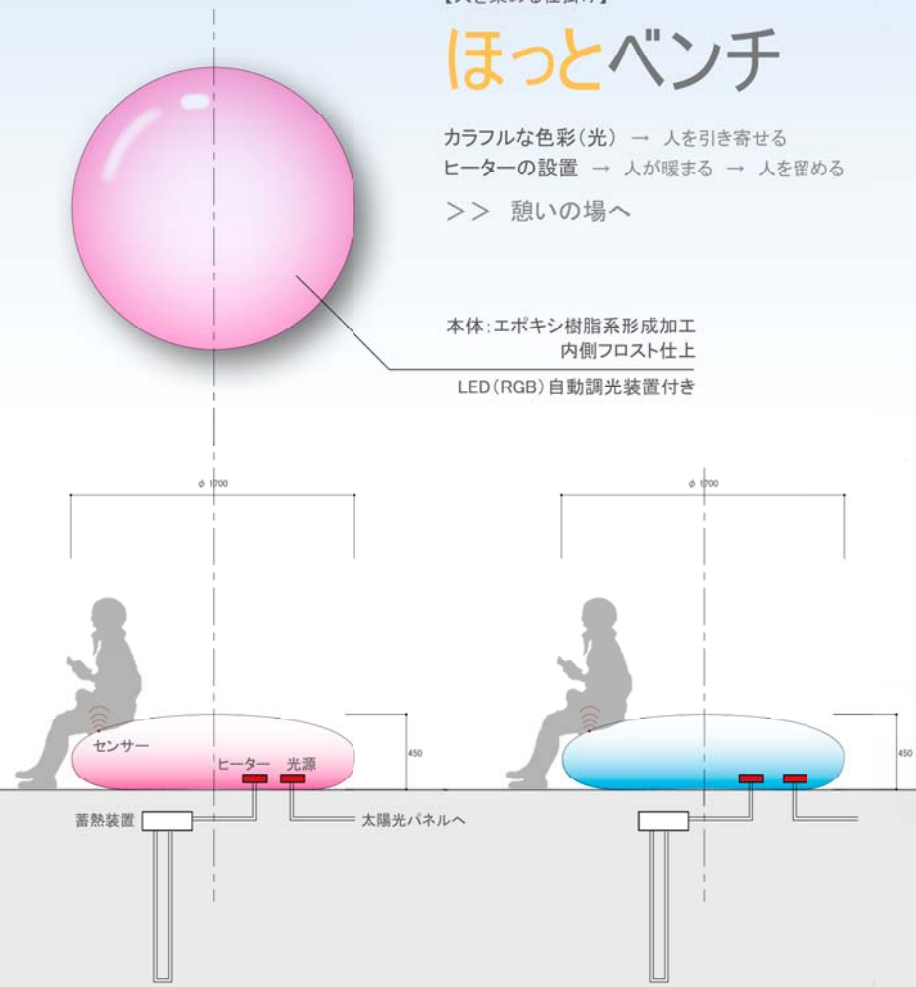


【人を集める仕掛け】

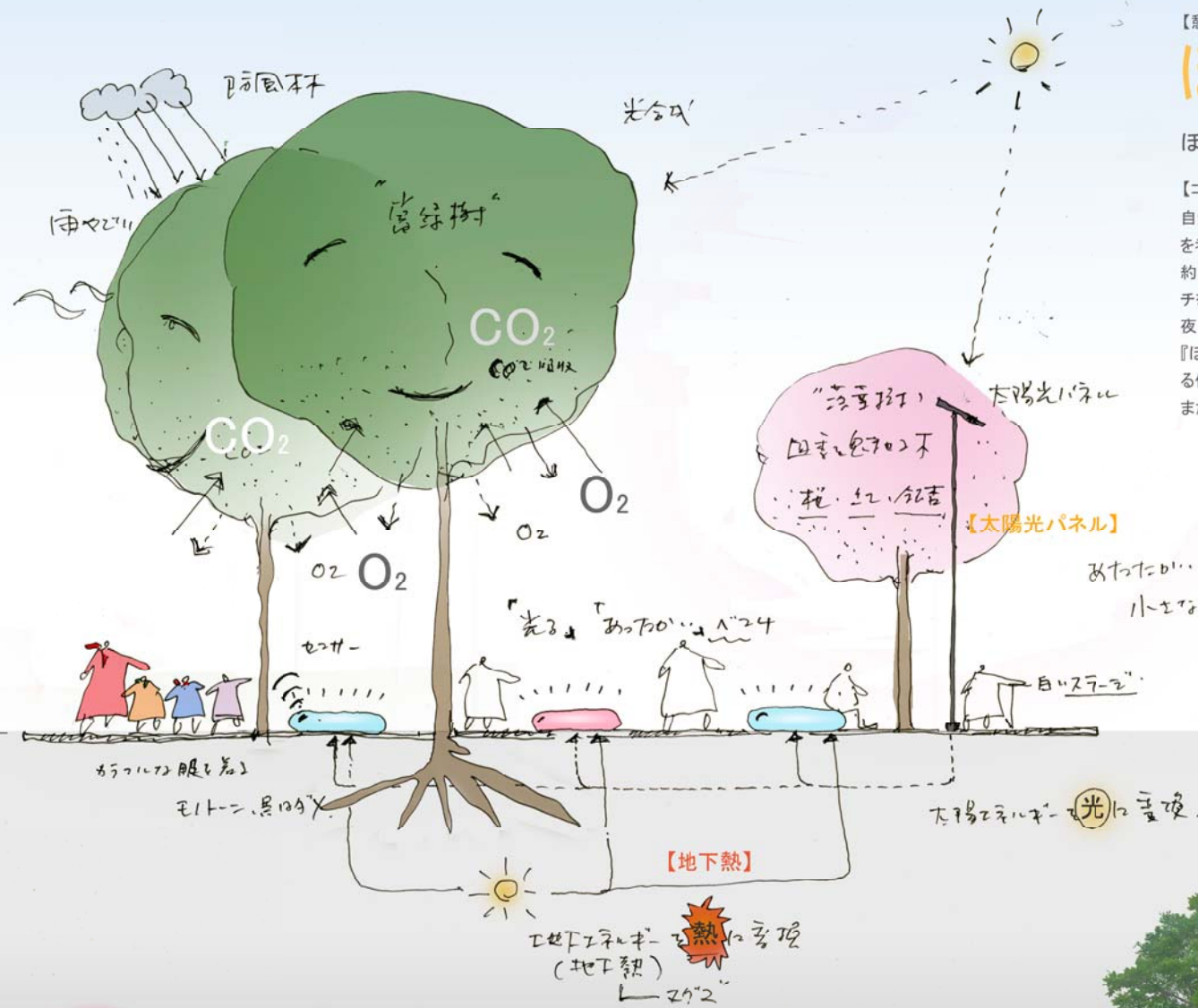
ほっとベンチ

カラフルな色彩(光) → 人を引き寄せる
ヒーターの設置 → 人が暖まる → 人を留める
>> 憩いの場へ

本体:エポキシ樹脂成形加工
内側フロスト仕上
LED(RGB)自動調光装置付き



【センサーによる点灯イメージ】



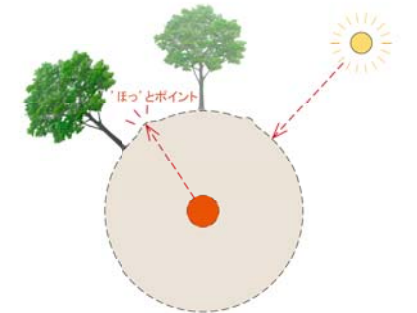
【憩いとエネルギー循環の仕組み】

ほっとする広場

ほっとベンチ/3台 + 樹木/3本 → 『ほっとする広場』

【コンセプト】

自然と人が集まり暖かさをシェアできる空間、そんなエコ空間(小さい森/ホットできる空間)を考えました。
約10mの白い床、そこには2本は常緑樹と1本の落葉樹そして3つの休息できるベンチを配置します。そのベンチは地下のエネルギーを熱に変換し暖かいベンチになります。夜は太陽エネルギーを光に変換し行灯ベンチになります。
『ほっとベンチ』は、人が座る事でゆっくりと光が広がり、場と人とのコミュニケーションを計る仕掛けとなります。
また、四季の移ろいを感じられる木々を配る事で'自然'を意識させる広場となります。



【夜間広場イメージ】

